

認証評価結果に対する改善報告書

平成 27 年 7 月 22 日

1. **大学名**：明海大学

2. **認証評価実施年度**：平成 24 年度

3. **「改善を要する点」の内容**

基準項目 2-1 の指摘

○外国語学部中国語学科及び不動産学部不動産学科の收容定員の充足率が低く改善を要する。

4. **改善状況及び結果**

基準項目 2-1 について

(改善の経過)

收容定員に沿った適切な学生数の維持を図るため、次のとおり当該学部学科の実状等に応じた改善を図り、現在も継続中である。

(1) 外国語学部中国語学科

平成 26 年度から人材需要の動向等社会の要請に応える教育課程に改編した。また、昨今の国際社会情勢の影響等による志願者の減少に対応するため、中国語教育を正規の教科又は課外教育として積極的に推進している高等学校への学生募集を強化することとした。

ア 教育課程の改編

平成 26 年度に教育課程の抜本的な改編を実施し、現在学年進行中（2 年次）である。

改編後の教育課程は、「中国語専攻（CLM）」と「グローバル・スタディーズ専攻（GSM）」の 2 専攻で構成し、CLMは従前の中国語、中国社会・文化を中心に授業科目を配置し、教員、通訳者、研究者（大学院進学）等の進路を想定した専攻となっている。一方GSMは、実践的な中国語運用能力と中国社会・文化に関する知識に加え、東アジアやASEANなどの地域研究科目や、経営学、社会統計学、中国経済、国際ビジネス論などの経済・経営系科目、さらには国際関係論や国際協力論などの国際関係科目を開設し、グローバル社会における人材需要の動向等社会の要請に応える専攻とした。また、両専攻ともに、1 年から 4 年次まで少人数必修ゼミを配置することで、きめ細やかな教育と学生指導の強化を図るとともに、2 年終了時までにはCLMにあってはHSK（漢語水平考試）5 級、GSMにあってはHSK4 級取得をそれぞれ掲げ、平成 28 年度からはラーニング・アウトカム（学習成果）を明確に示すことで学生の学修意欲の向上を図ることとした。

イ 学生募集の強化

中国語教育を正規の教科又は課外教育として積極的に推進している高等学校への学生募集を強化するため、平成 27 年度から当該地域に現地進学アドバ

イザーを配置し、高校訪問等による広報活動を展開している。また、当該地域における人材育成を通じた地域振興への貢献を果たすために、奨学金制度を創設し経済的負担の軽減を図ることで、大学進学の手続きを拡大を図ることとした。

(2) 不動産学部不動産学科

平成 26 年度から人材需要の動向等社会の要請に応える教育課程に改編した。また、当該学部学科における教育研究活動の理解促進のため、シンポジウムの開催等新たな情報発信を展開している。

ア 教育課程の改編

平成 26 年度に教育課程の改編を実施し、現在学年進行中（2 年次）である。改編後の教育課程は、1 年時に「不動産取引演習 A（4 単位）」と「不動産取引演習 B（4 単位）」、2 年次に「不動産取引演習 C（4 単位）」を開設し、ラーニング・アウトカム（学習成果）として「宅地建物取引士」資格取得に対応する教育課程とした。また、1 年次通年ゼミ「不動産学基礎演習（4 単位）」における専門科目としての初年次教育と学生指導に加え、ラーニング・アウトカムの達成のため、不動産取引演習科目の担当教員を配置した「スチューデントルーム」による授業時間外の学修支援、さらにはオープンカレッジによる宅建講座の開設により、きめ細やかな学修支援を行っている。

イ 教育研究活動の情報発信

社会貢献を兼ねたシンポジウムを開催することで、不動産学部における教育研究活動を広く社会に発信し、不動産学の意義と重要性について理解促進を図った。

● 平成 24 年 9 月 1 日（土）

「環境共生社会と市民の暮らしー液状化被害からの復興と浦安的環境共生へのロードマップー」

主催：明海大学不動産学部・不動産研究センター 後援：浦安市

● 平成 25 年 9 月 29 日（日）

「これからの未来を創る若者へのメッセージーあなたは どの街に住みたいですか」

主催：明海大学不動産学部

● 平成 26 年 9 月 17 日（水）

「オリンピックは東京の不動産市場をどのように変えるのか？ー木密地域の不燃化促進事業を踏まえた 2020 年不動産市場の未来ー」

主催：明海大学不動産学部 共催：一般財団法人日本不動産研究所

また、平成 25 年 9 月から身近な不動産に関する学生の視点と発見を業界紙「住宅新報」に連載（毎週）することにより、業界団体を通じた情報発信にも努めた。

（結果及び今後の計画）

両学部学科共に改編した教育課程が学年進行中であることから、現時点において収容

明海大学

定員の充足率の改善状況を客観的な数値をもって示す段階にないものの、明らかに学生の授業に取り組む姿勢に好循環が生じている。

今後は、現在取り組んでいる改善を着実に実行することでラーニング・アウトカム(学習の成果)を達成し、さらにこれらを広く社会に情報発信することで、教育課程の完成年度(平成29年度)目途に収容定員充足率の改善を図る。また、外国語学部中国語学科で取り組んでいる学生募集活動については、平成28年度入試結果及び地域需要等を分析した上で、不動産学部への導入又は対象地域の拡充を検討する。併せて、本学の特色を生かした高大連携を積極的に推進する。